

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公表番号】特表2013-518049(P2013-518049A)

【公表日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2012-550135(P2012-550135)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/5575 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/02

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月20日(2014.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 5 ~ 4 0 % の治療薬；

(i i) 0 . 2 5 ~ 0 . 3 5 d l / g の固有粘度を有する、 1 0 ~ 6 0 % のポリ - (D , L - ラクチド)；

(i i i) 0 . 1 6 ~ 0 . 2 4 d l / g の固有粘度を有する、 5 ~ 2 0 % のポリ (D , L - ラクチド)；

(i v) 7 3 : 2 7 ~ 7 7 : 2 3 の D , L - ラクチド : グリコリドのモル比、および 0 . 1 6 ~ 0 . 2 4 d l / g の固有粘度を有する、 5 ~ 4 0 % のポリ (D , L - ラクチド - コ - グリコリド；および

(v) 3 , 0 0 0 ~ 3 , 5 0 0 g / m o l の分子量を有する、 0 ~ 1 5 % のポリエチレングリコール

を含んでなる腔内インプラント。

【請求項2】

(i) 2 0 % の治療薬；

(i i) 0 . 2 5 ~ 0 . 3 5 d l / g の固有粘度を有する、 4 5 % のポリ - (D , L - ラクチド)；

(i i i) 0 . 1 6 ~ 0 . 2 4 d l / g の固有粘度を有する、 1 0 % のポリ (D , L - ラクチド)；

(i v) 7 3 : 2 7 ~ 7 7 : 2 3 の D , L - ラクチド : グリコリドのモル比、および 0 . 1 6 ~ 0 . 2 4 d l / g の固有粘度を有する、 2 0 % のポリ (D , L - ラクチド - コ - グリコリド；および

(v) 3 , 0 0 0 ~ 3 , 5 0 0 g / m o l の分子量を有する、5 % のポリエチレングリコール

を含んでなる、請求項 1 に記載の腔内インプラント。

【請求項 3】

治療薬が眼症状を治療するための治療薬である、請求項 1 または 2 に記載の腔内インプラント。

【請求項 4】

眼症状が緑内障または眼内圧亢進である、請求項 3 に記載の腔内インプラント。

【請求項 5】

治療薬がプロスタミドである、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の腔内インプラント。

【請求項 6】

プロスタミドがビマトプロストである、請求項 5 に記載の腔内インプラント。

【請求項 7】

埋入後 1 ヶ月を超える期間の間、1 日あたり約 1 0 0 n g の治療薬を放出する、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の腔内インプラント。

【請求項 8】

埋入後の最初の 1 ヶ月間にわたり治療薬の約 7 0 % を放出する、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の腔内インプラント。

【請求項 9】

少なくとも 2 つの、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の生分解性腔内インプラントを提供する工程；および

前記インプラントを眼の前房に埋入する工程
とを含んでなる眼症状の治療方法において使用する、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の腔内インプラント。

【請求項 10】

アプリケーターを使用して埋入される、請求項 9 に記載の腔内インプラント。

【請求項 11】

前房内への埋入後 2 4 時間以内に下角に沈降する、請求項 9 または 10 に記載の腔内インプラント。